

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページも見て下さい。www.tomichokyo.or.jp/yo.or.jp
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2025年度総会・第21回（通算第33回）施設大会 富山市で開催！



全国聴覚障害者情報提供施設協議会（以下、全聴情協）総会・施設大会が6月26日～27日に富山県教育文化会館（富山市）にて開催。52施設より71名が参加しました。

26日の施設長会議では課題だった協議会事務局体制等について昨年度より理事会等にて協議・検討を重ねてきた組織体制を提案。事務局機能強化、予算編成の基本方針、研修委員会・ブロック長の役割の明確化等を確認しました。情報ネッ

トワークの構築、映像情報の提供などについては新設した「調査・研究委員会」で検討することとしています。

その日の夜の懇親会は、オークスカナルパークホテルとやまにて行われ、新しく施設長になった方がおり、名刺交換が盛んに行われました。

翌日の27日は、総会・施設大会が行われ、施設大会では「全聴情協の役割・将来ビジョンと全聴情協に期待すること」のテーマにてシンポジウムが行われました。厚生労働省の吉元信治室長補佐の「聴覚障害者情報提供施設において情報化特別管理費の活用、遠隔手話通訳活用、災害時における役割」、全国手話研修センターの柴田浩志氏より「全国的支援機能を盛り込んだ中央センターの重要性」、全日本ろうあ連盟の石橋大吾理事長の「情報アクセシビリティ・コミ施策推進法と手話施策推進法をもとに社会モデルの施策を国・都道府県・市町村の障害者計画に反映させる取り組みが重要に併せて情報提供施設とろう協会と一緒に地域を巻き込んでいく取り組み」、全聴情協の中西公美子理事長からは「地域格差をなくし、都道府県エリアの事業実施と市町村を超える活動の情報保障を。実践と事業と運動の統一的発展を」などそれぞれの立場で話されました。

総会において、定款変更に基づく新役員選任があり、次の通り体制を承認されました。

- ・理事長 中西久美子（滋賀）
- ・副理事長 工藤 俊幸（青森）
- ・意思疎通支援研修委員長 西川 研（長崎）
- ・映像担当研修委員長 川津 雅弘（埼玉）
- ・相談支援研修委員長 藤平 淳一（石川）
- ・調査・研究委員長 太田 裕之（香川）
- ・監 事 中橋道紀（富山）／森田清人（沖縄）



センター利用の実績 6月21日～7月20日

- 来所者合計約 549名
聴障者約235名、健聴者約314名
- コミュニケーション支援 111件
- ライブラリー貸出 1件3本
- 相談対応 3件 ●部屋貸出36件

★センター運営募金・募集
郵便振替口座；
00790 - 0 - 93002
名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会
よろしくお願いします。